

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

平成25年12月 9日に不適合管理委員会で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分Ⅰ： 該当なし

区分Ⅱ： 該当なし

区分Ⅲ： 該当なし

その他： 6 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	所内低圧電源設備配電盤(モーターコントロールセンター)1SB-2(12E)の点検において負荷側電源回路の絶縁抵抗不良が認められたため、当該機器を調査・対応検討。	GⅢ	
2	1号機	非常用ガス処理系排ガス放射線モニターサンプルポンプ2において、動作不良(操作スイッチ入後、運転表示灯が点灯するも動作せず)が認められたため、当該サンプルポンプを交換。	GⅢ	
3	2号機	原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩器入口サンプル入口弁において、シート部に漏えい(入口弁「全閉」にも関わらず、導電率計に流量150ml/分指示および、pH計に流量40ml/分指示)が認められたため、当該弁を調査・対応検討。なお、上流弁を全閉にし漏えい停止。	GⅢ	
4	3号機	制御棒位置指示用検出器(46-39)の絶縁抵抗測定において、絶縁抵抗不良が認められたため、当該位置検出器を調査・対応検討。なお、位置指示表示は正常。	GⅢ	
5	3号機	廃棄物処理補機冷却系熱交換器(A)電解鉄イオン注入水止め弁において、シート部に漏えい(海水が鉛筆1本分程度)が認められたため、当該弁を調査・対応検討。	GⅢ	
6	1・2号廃棄物処理設備	補助ボイラー(C)において、停止中に缶内水位の低下が確認されたため、調査した結果、補助ボイラー(C)循環ポンプメカニカルシール部に漏えいが認められたため、当該メカニカルシールを交換。なお、循環ポンプを隔離し、缶内水位低下(漏えい)停止。	GⅢ	